



立川市議会議員 あべみさ REPORTNo.9 2025 年 5 月 1 日

発行責任者 阿部 美砂

立川・生活者ネットワーク

〒190-0004 立川市柏町 4-6-21 (新住所)

TEL : 042-535-9110



崖っぷちの保険制度 介護の社会化実現へ！

介護保険制度開始から 25 年経ち、介護の社会化は実現したのでしょうか



実は「介護保険制度は現在、崖っぷちに立たされている」と言われています。高齢化の進展に伴ってニーズが増え、介護保険料はこの間、1.9 倍になっている一方で、介護の現場は重労働でありながら低賃金であるため介護人材が不足。廃業する介護事業所も増加しています。行政が財政悪化を懸念して給付を抑制、使いにくい制度になっているとも言われます。

介護のこうした現状を市がどう認識し、対処しているのか質問し、ヘルパーの公務員化の検討や事業所への支援継続などを求めました。

市の答弁：2000 年の制度開始時に比べ、要介護・要支援認定者数は 2.7 倍と増加の一途。介護給付費も 2.5 倍に増えているが、介護を必要とする人にはサービスを提供できるよう、基盤整備等に取り組んでいる。



次に、国が 2027 年の制度改定で①「要介護 1、2 の高齢者の訪問介護と通所介護を、市町村の【介護予防・日常生活支援総合事業】に移管しようとしている点」②「サービス利用料の 2 割負担の標準化やケアプラン有料化など、利用者負担を増やす方向である点」についての見解を質問しました。



市の答弁：①について、利用できるサービスの種類の減少や自治体間の格差が生じ、ひいては利用料負担の格差につながる可能性がある②について、実施されれば更に格差が拡大することになりかねない。

このように、立川市も認識している、住民負担を増やし、サービスを下げるような国の制度改定に対し、利用者負担を上げないよう、国に求めることを要望しました。今後も制度の改悪にならないようしっかりと見ていく必要があります。

———介護保険制度についてのご意見を立川ネットまでお寄せください。———

立川市出前講座

基本から教えて！ 気になる「国保保険料」のこれから

国保の基本のキを知ろう

参加ご希望の方は
立川・生活者ネットワーク
あべみさ事務所まで
ご連絡ください。

【日 時】 2025 年 5 月 18 日 (日) 10 時 ～ 12 時

【場 所】 こぶし会館 定員 40 名

【参加費】 無料

【講 師】 立川市 保健医療部 保険年金課

【内 容】 ●国民健康保険とは？

●国民健康保険料のこれから

●質問コーナー